

事務事業評価シート（1/2）

658 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0220
 評価年度 令和 4年度
 所属 1811
 事務事業番号 00935

進捗区分 評価完了
 建設部建設監理課
 放置自転車対策事業

所属長名 鮫島 穰
 記入者 大田 彬雄

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	026	交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保				
事務事業	011	放置自転車対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	自転車法、及び大津市自転車等の放置防止に関する条例					
事業概要	(事業概要) 「大津市自転車等の放置防止に関する条例」に基づき設定した自転車等の放置禁止区域における『啓発・撤去・返還』業務を民間委託し、駅周辺の放置自転車等をなくし良好な環境及び美観を保持する。大津市道上等の啓発・撤去については、直営及び民間委託で行っている。 放置禁止区域・・・小野駅周辺・堅田駅周辺・おごと温泉駅周辺・比叡山坂本駅周辺・唐崎駅周辺・大津京駅周辺・大津駅周辺・膳所駅周辺・石山駅周辺・瀬田駅周辺・びわこ浜大津駅周辺					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) これまでの取組の結果、放置自転車の台数は減少傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 放置禁止区域における放置防止啓発作業の適切な人員配置や撤去日数の見直し等の効率化に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自転車及び原動機付自転車の所有者または利用者
目的(何のために)	公共の施設である駅前広場や大津市道上における自転車・原動機付自転車の放置の防止
手段(どのようなやり方で)	放置防止の『啓発活動』及び、禁止区域や大津市道上の放置自転車等の撤去
成果(どのような状態にするのか)	歩行者等の交通安全の確保及び街並みの美観保持

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,185	12,576	14,366	14,968	15,165	14,865	14,865
事業費	8,497	6,962	8,752	9,354	9,551	9,251	9,251
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	239	205	205	205	205	205	205
一般財源	8,258	6,757	8,547	9,149	9,346	9,046	9,046
人件費計	7,688	5,614	5,614	5,614	5,614	5,614	5,614
事務・技術(人)	0.62	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0220
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1811 建設部建設監理課
 事務事業番号 00935 放置自転車対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-40-50-00-02-00	放置自転車対策事業費	都市計画部都市計画課
01-40-20-40-50-00-02-00	放置自転車対策事業費	建設部地域交通政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 啓発台数	台	1,000.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		441.00	423.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 撤去台数（違法駐車台数）	台	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		337.00	543.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	公共広場・道路は市が管理すべきものであるため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	駅前広場における啓発・撤去台数は減少方向で推移している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	啓発・撤去台数の推移を見ながら人員配置を調整している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	放置自転車数は減少し、安全と美観の確保に繋がっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	これまでの事業活動の成果により放置自転車の啓発及び撤去台数は減少傾向にあり、歩行者等の交通安全の確保及び街並みの美観保持を維持してきた。（令和4年度については、撤去台数が令和3年度と比較し増加しているが、自転車駐車場からの撤去を積極的に行った結果である。） 一方、石山寺駅周辺の駐輪場外の駐車が増加してきたため、令和5年度は啓発日数を増やしていく予定である。今後も引き続き、撤去台数の状況に注視しつつ、事業活動を維持していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	事業活動の効率化や事業規模の縮小を図ってきているが、事業の成果への影響は生じなかったと評価できる。引き続き、効率的な事業活動に努めるとともに、今後の放置自転車への警告、撤去台数等の状況を注視し、必要に応じた事業活動を推進していくこと。		

事務事業評価シート（1/2）

661 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0221
評価年度 令和 4年度
所属 1801
事務事業番号 00897

進捗区分 部局評価
建設部地域交通政策課
公共輸送対策推進事業

所属長名 田中 仁史
記入者 浜本 悟史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	026	交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保				
事務事業	001	公共輸送対策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律					
事業概要	<p>(事業概要) 令和3年3月策定の大津市地域公共交通計画に基づき、既存の公共交通ネットワークの維持及びデマンド型乗合タクシー等の新たな移動手段の確保に向けた施策を推進し、誰もが安全・快適で、安心して暮らせる地域公共交通の実現を目指す。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 近年、公共交通（特に路線バス）の利用者数は減少傾向にあり、さらに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、公共交通の減便や廃止が増加していることから、持続可能な公共交通ネットワークの確保が急務となっている。</p> <p>(見直しや改善等の経過) 既存の路線バス維持のための支援を行うとともに、地域公共交通課題地域に対しては、地域住民・交通事業者との協働でデマンド型乗合タクシー等の新たな移動手段を確保するための取組を進めてきた。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	交通事業者、地域住民、行政が
目的(何のために)	持続可能な公共交通ネットワークを構築するために
手段(どのようなやり方で)	大津市地域公共交通計画に掲げる各種事業を協働で連携し、推進することで
成果(どのような状態にするのか)	安全、快適で安心して暮らせる地域公共交通ネットワークを形成する

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	83,698	226,573	93,267	117,833	124,266	117,965	117,076
事業費	53,788	195,890	70,696	95,262	101,695	95,394	94,505
国庫支出金	0	122,833	0	0	3,500	0	0
県支出金	0	6,339	5,000	6,000	6,000	6,000	6,000
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,722	1,671	1,704	1,598	1,598	1,598	1,598
一般財源	52,066	65,047	63,992	87,664	90,597	87,796	86,907
人件費計	29,910	30,683	22,571	22,571	22,571	22,571	22,571
事務・技術(人)	3.70	3.89	2.85	2.85	2.85	2.85	2.85
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

662 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0221
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1801 建設部地域交通政策課
 事務事業番号 00897 公共輸送対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-10-00	公共輸送対策推進費	都市計画部都市計画課
01-40-10-15-50-00-10-00	公共輸送対策推進費	建設部地域交通政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 公共交通維持・活性化に係る事業の実施数	事業	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
(成果) 1日あたりの地域公共交通全体の利用者数	人/日	345,000.00	345,000.00	312,865.00	312,865.00	312,865.00	312,865.00	312,865.00
		209,455.00	278,041.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	地域住民、交通事業者、行政が相互に連携し実施している			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	前年度と比較し徐々にではあるが成果は上がっている			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	地域住民、交通事業者と連携し、効率的な事業推進ができています			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	デマンド型乗合タクシー等により一定の移動手段が確保できている			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	令和3年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、各種施策の進捗状況を確認しつつ、既存公共交通の維持に向けては利用促進の取組など、地域住民・交通事業者・行政の三者が相互に連携、協働した取組が進められた。また、新たな移動手段の確保に向けてはデマンド型乗合タクシーについて、効率的かつ持続可能な運行となるよう、利用料金や運行形態など実証運行の見直しを実施した。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	近年、利用者数の減少や運転手の不足などにより、公共交通事業者は減便や廃止を余儀なくされていることから、今後、一層の既存公共交通の維持に向けた取組の充実を図ること。特に、地域公共交通課題地域においては、地域住民・交通事業者と三者協働により、既存公共交通の維持を図るとともに、デマンド型乗合タクシー等の新たな移動手段を導入するなど、課題解決に向けた事業の充実等の検討を進めること。		

事務事業評価シート（1/2）

664 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0222
 評価年度 令和 4年度
 所属 1801
 事務事業番号 04163

進捗区分 部局評価
 建設部地域交通政策課
 道路安全施設整備事業

所属長名 田中 仁史
 記入者 浜本 悟史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	026	交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001	地域公共交通ネットワークの維持・確保				
事務事業	031	道路安全施設整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	ビワイチ推進条例、ビワイチ推進総合ビジョン				
事業概要	滋賀県のビワイチ推進総合ビジョン及びビワイチ推進条例等に基づき、必要な自転車走行環境の整備を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>（事業を取りまく社会環境）</p> <p>平成30年3月に滋賀県においてビワイチ推進総合ビジョンが策定され、滋賀県が中心となり関連自治体との連携のもと、びわこ一周サイクリング（ビワイチ）の走行環境の整備が図られてきた。</p> <p>令和元年11月7日付でビワイチルートが「ナショナルサイクルルート」の指定を受け、さらに、令和4年3月に滋賀県においてビワイチ推進条例が制定されたことから、県市連携のもと、一層の走行環境の整備が求められている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	ナショナルサイクルルートに指定されたビワイチルートを走行する自転車利用者が
目的(何のために)	安全で、安心して、快適にサイクリングが楽しめるために
手段(どのようなやり方で)	走行環境を整備することで
成果(どのような状態にするのか)	市外からの利用者も増加させ、市内観光振興や、地域活性化を促進させる

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,974	24,112	3,778	7,948	6,648	4,248	8,748
事業費	5,854	23,020	2,530	6,700	5,400	3,000	7,500
国庫支出金	0	0	2,530	2,350	2,700	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,854	23,020	0	4,350	2,700	3,000	7,500
人件費計	1,120	1,092	1,248	1,248	1,248	1,248	1,248
事務・技術(人)	0.14	0.14	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0222
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1801 建設部地域交通政策課
 事務事業番号 04163 道路安全施設整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-40-00	道路安全施設整備費	建設部地域交通政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)道路安全施設整備施工延長(累計)	km	7.00	13.00	15.00	18.00	20.00	22.00	24.00
		7.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)整備率(累計)	%	29.00	54.00	63.00	75.00	83.00	92.00	100.00
		29.00	83.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	本市が所管する部分について、計画的に整備できている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	活動指標、目標指標ともに目標が達成できた		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	国の財源活用を検討し、計画的に整備できている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	ピワイチ等自転車利用者の安全・安心につながっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	ピワイチ推進条例に基づき、市道等における青矢羽根や案内看板の設置など、計画どおり自転車走行環境の整備を推進した。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ナショナルサイクルルートに関する国による整備状況の確認に向けて、今後とも計画に沿った自転車走行環境の整備を進めること。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0223
 評価年度 令和 4年度
 所属 1804
 事務事業番号 00951

進捗区分 評価完了
 建設部道路・河川管理課
 交通バリアフリー推進事業

所属長名 南 康浩
 記入者 藤田 靖典

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	003	障害者に配慮したバリアフリー化の推進				
事務事業	002	交通バリアフリー推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				
事業概要	(事業概要) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定されたJR大津駅～京阪びわ湖浜大津駅周辺及び膳所駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者、障害者等の社会参加機会が増えてきたことにより、道路等の公共空間におけるバリアフリー化を更に拡大させる必要がある。 (見直しや改善等の経過) 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区のなかで、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	高齢者、障害者等が
目的(何のために)	自立した日常生活を送れるように
手段(どのようなやり方で)	歩道の段差の解消、勾配修正などの補修工事を実施
成果(どのような状態にするのか)	誰もが利用しやすい歩道空間が確保される

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,904	22,190	33,110	33,110	23,110	23,110	23,110
事業費	3,594	14,080	25,000	25,000	15,000	15,000	15,000
国庫支出金	1,169	7,744	6,490	13,750	8,250	8,250	8,250
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	2,163	5,632	16,600	10,100	6,000	6,000	6,000
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	262	704	1,910	1,150	750	750	750
人件費計	8,310	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110	8,110
事務・技術(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

668 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0223
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1804 建設部道路・河川管理課
 事務事業番号 00951 交通バリアフリー推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-20-00	人にやさしい道づくり事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)整備箇所 133箇所	箇所	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	6.00
		7.00	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)整備率	%	57.89	65.41	72.93	80.45	87.96	95.48	100.00
		55.63	62.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	大津市バリアフリー基本構想に基づき整備している。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	歩道の安全かつ円滑な通行を確保している。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	国費等を活用した地区内の効率的かつ計画的な整備に努めている。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	進捗率向上が課題となるが、安全な歩行空間の整備を進めている。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	誰もが安心して快適に移動できる「人にやさしいまち」の実現に向けて、事業を継続させていく。また、「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」の開催を控え、令和3年度から令和5年度においては、重点整備地区と重複している膳所駅周辺地区の関係路線を優先的に整備する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	大津市バリアフリー基本構想に基づき、引き続き計画的な整備に取り組まれたい。		

事務事業評価シート（1/2）

670 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0224
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1804 建設部道路・河川管理課
 事務事業番号 02207 道路照明灯LED化推進事業

所属長名 南 康浩
 記入者 野川 翔平

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009 安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	022 防犯力の向上と生活安全の推進				
取組の方向性	001 防犯活動の強化				
事務事業	003 道路照明灯LED化推進事業				
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象		主な取組区分		対象外
根拠法令等	道路法 道路構造令				
事業概要	(事業概要) 既存の市街灯・防犯灯の照明器具のLED化を進める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市道等の夜間交通の安全確保に加え、市民の防犯意識の高まりから市街灯の設置要望が増加している。 (見直しや改善等の経過) 平成23年度11月以降、市街灯・防犯灯のうち、蛍光灯で維持管理しているものを中心に、老朽化した照明器具から順次LED照明器具に取り替えを進め、令和4年度で完了した。 令和5年度からは、10年計画で水銀灯約3000基のLED化を順次進める。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	既存の蛍光灯24,000基及び水銀灯3,000基
目的(何のために)	街灯の省エネ、少メンテナンスによる環境負荷軽減
手段(どのようなやり方で)	省エネかつ長寿命なLED器具へ取替
成果(どのような状態にするのか)	修繕費や消費電力を削減し、夜間の交通安全や防犯向上へ貢献

【コスト】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	52,894	47,100	52,780	52,780	52,780	52,780	52,780
事業費	44,994	39,320	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	40,500	40,500	40,500	40,500	40,500
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	44,994	39,320	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
人件費計	7,900	7,780	7,780	7,780	7,780	7,780	7,780
事務・技術(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0224
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1804 建設部道路・河川管理課
 事務事業番号 02207 道路照明灯LED化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-10-29-00-16-00	道路照明灯LED化推進事業費	建設部道路建設課
01-40-10-10-29-00-16-00	道路照明灯LED化推進事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) LED器具取替件数	件	2,200.00	1,855.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		2,211.00	1,489.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) LED器具取替件数目標達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.50	80.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市内全域のLED器具の規格統一を図るため妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	計画的にLED器具へ取替え、夜間の安全確保に貢献している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	不点灯修繕も同時に行えるため、迅速かつコスト軽減も図れている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	夜間交通の安全確保や地域の防犯意識の高揚に寄与している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	事業開始当初、約24,000基の蛍光灯を計画的にLED器具に更新することとし、令和4年度にすべて完了した。 また、令和5年度以降、現状の事業規模を維持しながら10年計画による水銀灯のLED化を順次進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	令和5年度以降、10年計画による水銀灯のLED化を推進していくこと。		

事務事業評価シート（1/2）

673 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0225
 評価年度 令和 4年度
 所属 1804
 事務事業番号 04202

進捗区分 評価完了
 建設部道路・河川管理課
 歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業

所属長名 南 康浩
 記入者 坪田 成正

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	018	古都にふさわしい景観づくり				
取組の方向性	001	次代に引き継ぐ景観づくり				
事務事業	006	歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	古都保存法、古都大津の風格ある景観をつくる基本条例、道路法					

事業概要	<p>(事業概要) 近江八景の1つ「堅田の落雁」に代表される堅田地区が、景観づくりを重点的に推進すべき地区（重点推進地区）に指定されており、この地区における歴史的な景観を保存するために、車道の修景舗装を行う。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 本市は、古都保存法に基づく「古都」の指定を受け、歴史上重要な文化的資産を有しており、道路等のインフラ施設にも景観形成に努める必要がある。 (見直しや改善等の経過) 景観づくりを重点的に推進すべき地区（重点推進地区）の中で、観光施設、観光者数等の状況を踏まえて、推進箇所の優先順位を見直した。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域住民及び来訪者
目的(何のために)	住み続けたいまち、人の集まるまちを築く
手段(どのようなやり方で)	歴史的まちなみと調和した修景舗装
成果(どのような状態にするのか)	歴史的風致の維持及び向上

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	15,152	0	0	0	0	0
事業費	0	11,252	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	5,625	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	5,627	0	0	0	0	0
人件費計	0	3,900	0	0	0	0	0
事務・技術(人)	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（1/2）

676 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0226
 評価年度 令和 4年度
 所属 1814
 事務事業番号 02369

進捗区分 評価完了
 建設部建築課
 公共施設適正管理推進事業

所属長名 山本 幸司
 記入者 山下 佳英

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	034	公共施設マネジメントの推進				
取組の方向性	001	公共施設等の適正化				
事務事業	002	公共施設適正管理推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	建築基準法					
事業概要	(事業概要) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要の高まりにより、多くの公共施設を保有している。保有する施設を適正かつ安全に維持していくために、施設点検による劣化状況の把握や情報を基にした施設所管課への技術的支援を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高度経済成長と人口増加を背景とした行政需要に対応していくため、これまで多くの公共施設を整備してきた。今後多くの施設が老朽化していくため、長寿命化を進めることが求められる。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度から情報端末活用による点検情報の集約により、改善の優先順位を整理しており、平成30年度には法令不適合箇所の改善の予算措置の支援を行った。今後も情報活用による効果的な投資に繋げていく。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	建築基準法で規定された200㎡を超える特定建築物及び防火設備を有する施設について
目的(何のために)	市が保有する公共施設を適正かつ安全に維持保全し、市民に安心して施設を利用してもらうために
手段(どのようなやり方で)	施設情報を集約した施設台帳（電子カルテ）を活用し、建築、建築設備及び防火設備の定期点検を実施するとともに、施設管理者等に施設安全管理に係る情報の提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	施設の安全性、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減につなげる

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	19,813	33,001	41,867	40,012	40,012	40,012	40,012
事業費	1,629	1,417	3,809	1,954	1,954	1,954	1,954
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,629	1,417	3,809	1,954	1,954	1,954	1,954
人件費計	18,184	31,584	38,058	38,058	38,058	38,058	38,058
事務・技術(人)	1.25	3.00	3.83	3.83	3.83	3.83	3.83
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

677 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0226
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1814 建設部建築課
 事務事業番号 02369 公共施設適正管理推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-03-60-00-10-00	公共施設適正管理推進事業費	建設部建築課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)市有施設の定期点検の実施	点検施設数	306.00	287.00	285.00	285.00	285.00	285.00	285.00
		287.00	293.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)防火設備点検の実施	点検施設数	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00
		117.00	116.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設点検結果の蓄積及び通知	実施率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)施設点検結果を活用した新たな施設保全の仕組みの構築	進捗率 (%)	90.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		90.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	公共施設の適正管理の視点から法定点検以外の施設情報も蓄積活用		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	点検情報の蓄積により施設状態の変化や修繕優先度を随時把握		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	不良部位の情報、指摘箇所を情報端末により可視化し効率的に運用		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	施設所管課への幅広い技術支援により施設の効率的な管理を推進		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後の公共施設のあり方については、既存施設の長寿命化に方策がシフトしている。このことから、保有する公共施設を限られた資源で有効に活用していくため、施設情報を基に本事業の取組を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	施設点検による状況の把握や情報を基にした施設所管課への積極的支援を継続すること。また、公共施設の効率的かつ適正な管理に資するよう技術の習得に努めること。		

